

No. 506
2013年
9月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、業績賞、実施賞、普及賞、事例研究賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

推薦締切日は以下のとおりです。

1. 業績賞、普及賞、実施賞：2013年11月30日
2. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：
2014年1月31日
3. 学生論文賞：2014年3月31日

推薦は原則として学会所定の様式に従ってください。様式は、ホームページ<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>からダウンロードしてご利用ください。

なお、各賞の概要は次のとおりです。過去の受賞者一覧は、<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award.html>に記載しています。

〔研究賞〕 昭和43年(1968年)に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、昨年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。

授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。

〔研究賞奨励賞〕 若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として2014年1月1日に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方などは、この年齢制限を超えていても構いません。

授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年3名程度を表彰する予定です。

〔業績賞〕 ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。ただし被推薦者は、原則として満40歳以上、満60歳以下の学会員であることが必要です。毎年1名程

度を表彰する予定です。

〔実施賞〕 ORの強力な実施・推進に対して贈られます。毎年1件程度を表彰する予定です。

〔普及賞〕 ORの普及に大きな貢献に対して贈られます。毎年1件程度を表彰する予定です。

〔事例研究賞〕 ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。

*〔実施賞〕〔普及賞〕〔事例研究賞〕はともに、個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔論文賞〕 昨年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて(非会員が含まれる場合も全員)を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。

〔学生論文賞〕 学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

(表彰委員会)

● 新フェロー推薦締切日について

新フェローの推薦につきましては、例年、現フェローの方に1月初旬締切を目途にご推薦をいただいています。昨年度のご推薦締切日は1月10日でした。本年度より**11月30日締切**とさせていただきますので、ご留意ください。詳しくは、後日、フェロー様宛にメールにてご案内させていただきます。

● 2013年秋季シンポジウム(第70回)

日程：2013年9月10日(火)

場所：徳島大学常三島キャンパス

<http://www.tokushima-u.ac.jp/campusmap/josanjima/>

テーマ：「四国のオペレーションズ・リサーチ」

実行委員長：宍戸栄徳(香川大学)

当日受付参加費：正・賛助会員 4,000円，学生会員 2,000円，非会員 5,000円，非会員の学生 2,000円

*非会員の学生の方は，当日受付にて学生証提示が必要となります。

協賛学会：日本経営工学会（JIMA），日本品質管理学会（JSQC），日本信頼性学会（REAJ），研究・技術計画学会（JSSPRM），日本設備管理学会（SOPE-J），経営情報学会（JASMIN），プロジェクトマネジメント学会（SPM）

参加費関連問合せ先：OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

シンポジウムHP：

http://www.orsj.or.jp/~nc2013f?page_id=16

● 2013年秋季研究発表会

日程：2013年9月11日（水），12日（木）

場所：徳島大学常三島キャンパス

<http://www.tokushima-u.ac.jp/campusmap/josanjima/>

テーマ：「ツーリズムとOR」

実行委員長：大橋 守（徳島大学）

当日受付参加費：正・賛助会員 7,000円，学生会員 2,000円，非会員 10,000円，非会員の学生 2,000円

*非会員の学生の方は，当日受付にて学生証提示が必要となります。

懇親会：9月11日（水）18：30

会場：阿波観光ホテル

参加費：当日受付6,000円

賛助会員の方へ：

1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加できます。賛助会員受付にて名刺をご提示ください。ご参加者様については，社内で調整をお願いいたします。

ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りしております。

企業展示（50音順）：MSI(株)，(株)オクトーバースカイ，(株)構造計画研究所，(株)数理システム

協賛学会：日本経営工学会（JIMA），日本品質管理学会（JSQC），日本信頼性学会（REAJ），研究・技術計画学会（JSSPRM），日本設備管理学会（SOPE-J），経営情報学会（JASMIN），プロジェクトマネジメント学会（SPM）

参加費関連問合せ先：OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

発表に関する問合せ先：

2013年秋季研究発表会実行委員会

E-mail: nc2013f@orsj.or.jp

*お名前，ご所属先，ご用件を書いて送ってください。

大会HP：<http://www.orsj.or.jp/2013fall/>

● 第32回企業事例交流会

趣旨：OR学会企業事例交流会とは，企業において活躍されている方にOR実施例（問題の発生からさまざまな苦労を経て解決に至る苦労話など）を新規研究の発表という形式ではなく，ORの適用事例という形式で発表していただき，学識者の方，他企業の方と意見交換をしていただく場です。

日程：2013年9月11日（水）

場所：徳島大学 常三島キャンパス総合科学部1号館A会場

プログラム

(1) 15：20～16：20

1-A-5 「鉄鋼圧延プロセス制御におけるOR的手法」

中川繁政（新日鐵住金(株)）

1-A-6 「化学プラントの生産計画・スケジューリング取組事例」

澤井義人（三菱化学(株)）

(2) 16：35～17：35

1-A-7 「LNG船の運用最適化による燃料費削減の取り組み」

小林宏樹（大阪ガス(株)）

1-A-8 「徳島県における病・診連携システムの構築」

玉木 悠（徳島大学病院）

参加方法：研究発表会のセッションとして行いますので，研究発表会参加の手続きをしてください。

問合せ先：企業事例交流会担当

斉藤 努（(株)構造計画研究所）

E-mail: tsutomu@kke.co.jp

大会HP：<http://www.orsj.or.jp/2013fall/>

● 2014年春季シンポジウム (第71回)

日 程：2014年3月5日(水)
場 所：大阪大学 豊中キャンパス

● 2014年春季研究発表会

日 程：2014年3月6日(木), 7日(金)
場 所：大阪大学 豊中キャンパス

● 研究部会・グループ開催案内

〔OR普及のためのモチベーション教育〕

・第3回
日 時：2013年9月20日(金) 17:00~18:00
場 所：小樽商大札幌サテライト中講義室
テーマと講師：

「ORのための教育(情報)工学の役割について」
(仮題)

伊藤公紀(札幌大学)

懇親会：「複雑系とOR」研究部会と合同

日 時：9月20日(金) 20:00~22:00
場 所：JR札幌駅周辺

問合せ先：西川孝二(北海道自動車短期大学)
E-mail: nishikawa@haec.ac.jp

〔複雑系とOR〕

・第3回
日 時：2013年9月20日(金) 18:30~19:30
場 所：小樽商大札幌サテライト中講義室
テーマと講師：

「複雑系から見たOR」(仮題)

木下正博(北海道工業大学)

懇親会：「OR普及のためのモチベーション教育」
研究部会と合同

日 時：9月20日(金) 20:00~22:00
場 所：JR札幌駅周辺

問合せ先：西川孝二(北海道自動車短期大学)
E-mail: nishikawa@haec.ac.jp

〔意思決定法〕

・第25回
日 時：2013年10月1日(火) 17:00~19:00
場 所：日本大学 桜門会館301会議室
〒102-0076 東京都千代田区五番町2-6

テーマと講師：

- (1) 「戦略的意思決定法としての支配型AHP」
木下栄蔵(名城大学)
- (2) 「多重支配代替案法としての一斉法」
杉浦 伸(名城大学)
- (3) 「支配型AHPからみたSPCM」
大屋隆生(国士舘大学)
- (4) 「AHPからSPCMまでの数学的解釈」
水野隆文(名城大学)

問合せ先：西澤一友(日本大学) Tel: 047-474-2664
E-mail: nishizawa.kazutomo@nihon-u.ac.jp

〔数理的手法の展開と応用〕

・第8回
日 時：2013年10月5日(土) 14:30~17:00
場 所：福井工業大学福井キャンパス プレゼンテーションルーム

テーマと講師：

- (1) 「Webデータに基づく京都市のホテルの稼働率の推定」
津田博史(同志社大学理工学部数理システム学科)
- (2) 「大学連携で実施する教学IRの取組」
山川 修(福井県立大学学術教養センター)

問合せ先：杉原一臣(福井工業大学工学部)
Tel: 0776-29-2565, FAX: 0776-29-7891
E-mail: sugihara@fukui-ut.ac.jp

部会URL：http://www10.atwiki.jp/mathmethod/

2013年度第2回ORセミナー

『Excelで学ぶOR』

開催趣旨: 基礎からORを学びたい受講者を対象とします。Excelを用いて実際にデータを入力して、ソルバーを用いて問題を解くことによって、ORの基本(モデリングや定式化)からさまざまな応用分野を具体的な問題例を通じて学習することを目的とします。参加者は予めExcel(2007以降可、2010推奨)をインストールしたノートパソコンを持参することによって講義および演習形式でセミナーを行っていきます。

当日、『Excelで学ぶOR』の書籍販売を行います。下記サイトからPDF版を購入することもできます。PDF版は書籍より廉価です。<http://estore.ohmsha.co.jp/titles/978427406852P>

日時: 2013年9月20日(金) 10:00~17:40

会場: (株)構造計画研究所 本所新館(地下1階 レクチャールーム)

〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3 Tel. 03(5342)1065

《交通》東京メトロ丸の内線「新中野」駅1,2番出口徒歩約1分

《地図のURL》<http://www.kke.co.jp/corporate/profile/map/tokyo.html>

コーディネーター, 司会: (株)構造計画研究所 齊藤努

協賛学会(交渉中): 情報処理学会, 経営情報学会, 電子情報通信学会, 日本経営工学会

定員: 50名 定員になり次第締め切らせていただきます。

プログラム: (敬称略)

10:00~10:05 **開会挨拶**

10:05~12:05 **講演1(途中休憩あり)**

題目:「基本編(モデリングと定式化及びExcelソルバーの使い方)」

講師:中央大学 藤澤克樹

概要:ORの基本ツールである数理計画問題を使うためのモデリングや定式化の方法を学習する。さらに代表的な数理計画問題やシミュレーションの紹介を行い、Excelソルバーを用いて実際にこれらの例題を解きながら問題解決の方法も同時に学習していく。

12:05~13:15 **昼休み**

13:15~15:15 **講演2(途中休憩あり)**

題目:「応用編1(不確実性下の意思決定と評価のための方法論)」

講師:東京工業大学 高野祐一

概要:前半ではExcelソルバーの応用として、2次計画として記述されるポートフォリオ最適化問題を中心に学習する。後半ではLPを用いた評価法として知られるDEA(包絡分析法)について学習する。

15:30~17:30 **講演3(途中休憩あり)**

題目:「応用編2(都市・交通のデザインと計画・運用のための最適手法)」

講師:中央大学 安井雄一郎

概要:前半は交通網のデザインやソーシャルネットワークの解析などさまざまな応用をもつ最短経路問題と最大流問題を中心に、後半はExcelソルバーを用いながら乗務員の最適な割り当てや顧客への商品の配送などに用いられる「効率よいスケジュール」を作成する手法を学習する。

17:30~17:40 **まとめ**

テキスト: 当日会場にて配布

参加費(テキスト代込み): 正・賛助会員(協賛学会員を含む)5,000円, 学生(会員/非会員)0円, 非会員10,000円
たくさんの方に参加して頂けるように参加費を下げています。是非、ご参加ください。

申込方法: 日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

お名前, ご所属先, 正会員/学生会員/賛助会員/協賛学会員/非会員, お支払予定日を記入してメールにてお申込みください。会社宛請求書が必要な場合, その旨お書きください。

申込締切: 2013年9月13日(金)

お振込先: みずほ銀行: 根津支店(店番号235) 普通1530801

口座名: 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

*詳しくは, OR学会WEB <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html> をご覧ください。

● 第25回RAMPシンポジウム

日 時：2013年10月29日（火）、30日（水）

場 所：鹿児島大学稲盛会館（鹿児島市）

実行委員長：新森修一（鹿児島大学大学院理工学研究科）

プログラム：

10月29日（火）

受付 9:00～

開会の挨拶 9:20～

1. 「安定マッチング：様々な視点から」 9:30～12:30

オーガナイザー：岡本吉央（電気通信大学）

1-1) 安田洋祐（政策研究大学院大学）「マッチング・マーケットデザインの理論と実践」

1-2) 横尾 真（九州大学）「戦略的操作不可能な下限制約付きマッチング」

1-3) 宮崎修一（京都大学）「安定マッチング問題に対する近似アルゴリズム」

昼食 12:30～14:00

2. 「現代の通信技術と最適化」 14:00～17:00

オーガナイザー：田中利幸（京都大学）、
林 和則（京都大学）

2-1) 松田崇弘、笹部昌弘（大阪大学）「高信頼無線通信のためのネットワーク最適化」

2-2) 山本高至（京都大学）「無線通信システムへのゲーム理論の応用」

2-3) 梅原大祐（京都工芸繊維大学）「高速・高多重CANのための短パルス伝送路符号とその最適化問題」

2-4) 谷村崇仁、小田祥一郎、青木泰彦、イエンス・ラスムセン（(株)富士通研究所）「複雑化する光通信ネットワークとその制御」

懇親会（予定、18:30～）

10月30日（水）

3. 「エネルギーシステムにおける最適化」 9:30～12:30

オーガナイザー：武田朗子（東京大学）

3-1) 滑川 徹（慶応義塾大学）「電力市場における最適価格設定問題へのシステム制御アプローチ」

3-2) 畑中健志（東京工業大学）「エネルギーマネジメントのための分散最適化とゲーム」

3-3) 津田宏治（産業技術総合研究所）「フロントニア法による電力網構成制御」

昼食 12:30～14:00

4. 「横断する最適化」 14:00～17:00

オーガナイザー：神山直之（九州大学）

4-1) 穴井宏和(株)富士通研究所/九州大学「数式処理による最適化」

4-2) 増田直紀（東京大学）「ネットワークと最適化：複雑ネットワーク研究の話題から」

4-3) 上野賢哉（京都大学）「劣加法性で横断する最適化から計算限界」

閉会の挨拶 17:00～

問合せ先：〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-24-35
鹿児島大学大学院理工学研究科（理学系）

第25回RAMPシンポジウム実行委員会事務局

新森修一 E-mail: shinmori@sci.kagoshima-u.ac.jp

シンポジウムURL：<http://www.sci.kagoshima-u.ac.jp/~shinmori/RAMP2013/>

部会URL：<http://www.orjs.or.jp/ramp/index.html>

● 新宿OR研究会案内

〔第331回 新宿OR研究会〕

日 時：2013年9月17日（火）12:00～14:00

場 所：東天紅会議室（新宿センタービル53F）

講 師：八戸英夫氏（工学院大学工学部機械システム工学科教授）

テーマ：「製品デザインと感性」

参加費：3,000円（事前にもメールにてお申し込みください。）

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail:jimukyoku@orjs.or.jp

● 助成案内

・ 鹿児島学術振興財団2013年度研究助成

対象研究者：

(1) 都市・居住環境の整備

(2) 国土・資源の有効利用

(3) 文化的遺産・自然環境の保全

以上の分野での研究者または研究グループ

助成金額と期間：

(1) 1件あたりの助成金は、継続期間の分も含めて合計300万円以内とする。

(2) 助成期間は2年間まで。

使 途：研究に必要な設備備品費、消耗品費、謝金、旅費、印刷製本費等

*詳しくは、<http://www.kajima-f.or.jp/obo/>をご覧ください

ください。

推薦者：OR学会会長

OR学会推薦締切：2013年10月10日（木）

申請書提出先：

鈴木 勉 研究理事

E-mail: tsutomu@risk.tsukuba.ac.jp

日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

問合せ先：日本OR学会事務局

● 他学協会協賛案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので、皆様奮ってご参加ください。

・スケジューリング・シンポジウム2013

日 程：2013年9月21日（土）、22日（日）

主 催：スケジューリング学会

場 所：南山大学名古屋キャンパスB棟

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

URL：<http://www.scheduling.jp/symposium/2013/>

・第26回秋季信頼性シンポジウム

日 程：2013年11月5日（火）

主 催：日本信頼性学会

場 所：一般財団法人日本科学技術連盟千駄ヶ谷本部

ビル（渋谷区千駄ヶ谷5-11-10）

URL：[http://www.reaj.jp/modules/eguide/](http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=30)

[event.php?eid=30](http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=30)

● 教員公募案内

・鳥取大学大学院工学研究科

募集人員：教授 1名

所 属：社会基盤工学専攻 社会経営工学講座

専門分野：環境工学、環境計画

担当授業科目：（大学院）環境システム工学、（学部）

上下水道・水質管理、水理学および数学、物理学等の基礎科目

応募資格：(1) 博士の学位を有すること。(2) 上記の専門分野に関し、十分な研究業績を有し、教育、研究および専攻運営に熱意があること。(3) 地域流域環境管理に関して、調査・解析・情報システム利用等によるアセ

スメントに基づく持続的・水環境社会の計画論について、教育・研究が行えること。

着任時期：2014年4月1日（予定）

提出書類：①履歴書、②教育歴、③研究歴、④その他の活動歴、⑤着任後の抱負、⑥研究業績リスト、⑦所見を伺える方の照会先（2名）または推薦状（2通）、⑧主要な査読付学術論文の別刷り（コピー可）5編程度

応募締切：2013年11月1日（金）必着

選考方法：専攻内選考（1次：書類審査、2次：面接（プレゼンテーションを含む））および研究科内選考

問合せ先・送付先：

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101

鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻社会経営工学コース長

福山 敬

Tel: 0857-31-5312, FAX: 0857-31-0882

E-mail: fukuyama@sse.tottori-u.ac.jp

（封筒表面に「教員応募書類在中」と朱書し、簡易書留郵便または宅配便にて送付のこと。なお、原則として提出書類は返却しませんのでご了承ください。）

URL: <http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo.html>

・東京理科大学理工学部経営工学科

募集人員：任期つき嘱託助教 1名

所 属：東京理科大学理工学部経営工学科

任 期：5年

専門分野：経営工学

応募資格：博士の学位を有すること

着任時期：平成26年4月1日

提出書類：

- (1) 履歴書（写真貼付）
- (2) 研究業績一覧表
- (3) 主要論文の別刷り数編（コピー可、各1部）
- (4) 研究業績の説明と着任後の研究と教育に対する抱負（A4で各1枚程度）
- (5) 推薦書を求めうる方2名の氏名と連絡先
- (6) 学位記（博士）の写し
- (7) 連絡先

応募締切：平成25年9月27日（金）必着

書類送付先および連絡先：

〒278-8510 千葉県野田市山崎2641
 東京理科大学理工学部経営工学科
 学科主任 鈴木知道
 E-mail: szk@rs.tus.ac.jp
 電話 04-7122-9791 または 04-7122-9554
 (学科事務室)

備考：

- ・応募書類は、封筒に「教員応募書類在中（嘱託助教）」と朱書きして簡易書留等で郵送してください。
- ・応募の機密は厳守し、選考結果はご本人にお知らせします。
- ・応募書類は原則として返却しません。

学生会員年会費無料化キャンペーン

- ① 2013年度・2014年度新入会学生の方は、入会金600円のみで入会できます。年会費5,000円は無料といたします。
- ② 2013年度年会費をすでに払込の学生会員の方には、ご指定の口座に返金いたします。
- ③ ①②とも**正会員である指導教員様より「学生会員年会費無料化キャンペーンに応募」**する旨のメールを事務局宛に発信していただくことにより、その学生会員の方の2013年度年会費を無料・返金させていただきます。
 「教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属先、メールアドレス」を明記し、学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp まで。
- ④ なお、指導教員様にはお手数ですが、2014年度年会費無料に関して2014年1月に下記いずれかを事務局宛に発信してください。（発信なき場合は会費徴収（学生会員年会費5,000円）となります。）
 *「当該学生の2014年度学生会員年会費無料要請 Mail」→2014年度学生会員年会費無料
 *「当該学生は卒業、就職等にて、正会員へシフト予定」→2014年度正会員年会費14,400円となります。
 *「当該学生は卒業、就職等にて退会予定」

上記キャンペーンは、当面2年間としますが、延長などは状況により検討の予定です。
 学会年度は、3月1日～2月末日です。

メーリングリスト登録のご案内

OR学会ではメーリングリストを開設し、本学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナーなどの催しに関する広報機能としてご利用いただいています。

新規にOR学会のご入会の方、未登録の方は、ご登録くださいますようご案内申し上げます。

ご登録済みのアドレスを変更する場合は、新しいメールアドレスで参加登録をし、古いアドレスは脱退の手続きをしてください。

詳しくは、学会WEBのメーリングリスト利用の手引きをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/members/mlhowto.html>

年会費専用振込み口座

年会費：正会員 14,400 円，学生会員 5,000 円
 口座名：公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
 ゆうちょ銀行：東京 00190-6-79492
 みずほ銀行：根津支店（店番号 235）普通 1124744
 ＊手数料は払込人負担でお願いいたします。
 ＊会員番号とお名前は必ずお書きください。

お問合せ・各種お届け先

OR 学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

- ・住所／所属先／メールアドレス／OR 誌送付先の変更／学生会員→正会員への変更
 会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。
- ・退会届
 会員氏名と簡単な退会理由もお書きください。

年会費請求書の再発行

会員氏名，請求金額，請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）
 請求書の日付指定の有無
 請求書様式の指定（請求書・見積書・納品書，指定用紙ありなど）

年会費領収書の発行

会員氏名，納入金額，領収書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）
 領収書の日付指定の有無
 毎年発行希望の場合は，その旨，お書き添えください。

ご意見をお寄せください

研究発表会・シンポジウム・研究部会・機関誌・論文誌等の学会活動に関しまして，「気になること」「ご要望」「ご意見」等がございましたら，学会事務局
 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
 までお寄せください。お待ちしております。

● 新入会員（2013年8月理事会承認分）

—正会員—

鈴木 秀和 三菱マテリアル(株)
 大谷賢太郎 (株)トランスメディア

—学生会員—

大井 一輝 京都大学〔関西支部〕
 中村 俊哉 防衛大学校
 朱 官植 防衛大学校
 角田 瑞樹 早稲田大学大学院
 ジョン ヘジュン 大阪大学〔関西支部〕
 中根 大貴 文教大学
 須永 桂一 防衛大学校
 藤原 央之 防衛大学校
 村崎 暢彦 防衛大学校
 稲田 啓佑 中央大学
 岩澤 宏紀 名古屋大学〔中部支部〕
 八木 徹矢 小樽商科大学〔北海道支部〕
 西沢 昂 筑波大学
 鄭 俊俊 広島大学大学院〔中四国支部〕
 岡田 拓也 大阪府立大学〔関西支部〕
 大田 章雄 京都大学大学院〔関西支部〕
 ディーラタナシークン ラリダー 東京工業大学
 吉宮 博人 東邦大学大学院
 田村 章悟 中央大学大学院
 是枝 友樹 大阪府立大学〔関西支部〕
 永松 平 東京工業大学大学院
 塚田 航 筑波大学
 胡 佳男 東京工業大学
 鈴木 成美 南山大学〔中部支部〕
 渡辺 泰之 石巻専修大学〔東北支部〕
 黒川 達矢 岡山県立大学〔中四国支部〕
 西村 直樹 東京工業大学
 徳永 拓真 成蹊大学

* 支部表記のない方は本部所属です。